

ざいそう

趣味？

西 陽一郎



少なくとも年取の10%を注ぎ込むくらいでないとなりの趣味とは言えない、と何かの本で読んだことがあります。この基準で行くと自分が趣味と思っているいくつかの楽しみは、どれをとっても趣味とは呼べないことになってしまうのですが、まあ、お金をかけることだけが趣味の条件ではないと思う気持ちも強くあります。

生来の気の多さのせいか、今まで色んなことにトライして来ました。スポーツ系では、もう30年以上にもなるテニス、ゴルフはなかなかうまくはなりません。スキーにマウンテンバイクも未だに頑張っていますし、少し前までは道具を一式そろえてひと夏に何回もキャンプに行っていましたし、那智勝浦の田舎に帰れば必ず磯釣りにも行きます。ハングライダーをやりたいと言ったとき、女房に「お願いだからもうこれ以上趣味を増やさなさいで…」と泣きそうな顔で言われ、諦めた記憶があります。

さて、そんな自分の趣味？の中でも一番長くやっていて、今でも入れ込んでいると言えるのは楽器の「ベース」であります。学生時代に友人達とフォークソングのバンドを組んでいて、歌もギターも中途半端だった自分が成り行きでベースギターのパートになってしまいました。自分の学内はもちろん、近所の女子大の文化祭に飛び入り参加したり、99円コンサートとかいうのにも出たりして、どうにかしてミュージシャンというものになれないかと真剣に考えていた時期もありました。

就職してしばらくの間は楽器に触る機会などはまったくありませんでしたが、ベーシストってというのは希少価値があるのでしょうか、ひょんなことからまた社会人バンドに誘われ、以来3つのバンドのベーシストを経験しました。

現在参加させてもらっているのは、アコースティック系のブルースを主にやるバンドで、確か結成は1999年、もう10年以上も続いていることになります。レパートリーはそんなに多くはないものの、いつもやっている曲はまあそれなりに聴かせられるレベルだとは思いますが、メンバーに目立ちたがり屋が少ないためか、ライブなどへの出演は今まで本当に数えるほど、普段は土曜日の夜に練習と称して集まって、よもやま話と演奏が半々くらいの比率で楽しんでいます。エリック・クラプトンの「Unplugged」のナンバー

を最も得意としています。(高松に単身赴任になってからは、忙しくてなかなか参加できないのが悩みの種ですが…)

学生時代からずっと普通のエレキベースを弾いていたのですが、ある時、たまたま誰かのライブで、立てた姿で弾く「エレクトリック・アップライトベース」というものを見て、(故：いかりや長介氏がCMで弾いていたヤツです)そのあまりのカッコ良さにどうしても欲しくなりました。が、当時その欲しかった機種は定価で50万円以上、とてもウィークエンドプレイヤーのサラリーマンに手の届く価格ではありませんでした。

しばらくして、たまたまインターネットを眺めていたら、このアップライトベースを自作した外国の方のページを見つけました。ひょっとしたら自分も作れるかもしれないと思って、楽器屋さんにメジャーを持って寸法を測りに行き、図面を引き、木材を買い込み、日曜ごとにコツコツ削って約1年がかりで作ったのが今使っているベースです。素人細工の割にはいい音を出してくれます。

ここ6~7年はずっとこれでやって来ました。もう少し違う音がほしくなり、最近2作目のベースを作り始めています。今度のはボディ内部がヴァイオリン状の空洞になっていて、今までのよりもう少しウッド系の音が出てくれるのではないかと思います。これを作り始めてからは、住家に行っている賃貸マンションの一室は完全に木工作業場と化してしまいました。近所への騒音のことも考慮して、穴あけ用の電気ドリル以外は、鋸、鑿、鑿、鉋等、完全に手作業での製作です。

こうして木を削っていると、仕事のことはほとんど完全に忘れてしまうことができます。ベースを「弾く」ことが趣味なのか、それとも実は「作る」ことが趣味なのか、自分でも少々わからなくなっていますが、いつかはこの自作ベースで、ライブの舞台に立ちたいと思っているこの頃です。



——にし よういちろう (株)タダノ 開発部門担当執行役員 開発企画部長——